

研究員 の眼

インデックス型の米国株式ファンドに 過去最大規模の資金流入 ～2022年10月の投信動向～

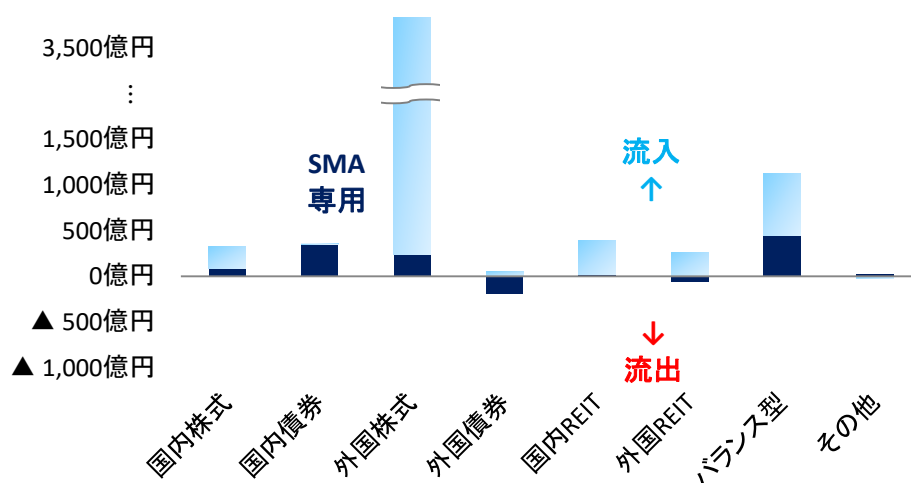
金融研究部 主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

インデックス型の外国株式ファンドの販売は堅調

2022年10月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流出入をみると、主として外国株式を投資対象とするものを中心に多くの資産クラスのものに資金流入があった【図表1】。ファンド全体で6,100億円の資金流入があったが、9月の9,000億円と比べると2,900億円減少した。

10月は全体でみると資金流入が大きく減少したが、外国株式ファンドには9月と同規模の3,800億円の資金流入があり、外国株式ファンドに限ると販売は引き続き堅調であった。特にインデックス型の外国株式ファンドに3,200億円（【図表1】紺棒のSMA専用のものを除外）の資金流入があり、9月の2,900億円から約200億円増加した。個別に10月に資金流入が大きかったファンドをみても、上位10本中5本（赤太字）がインデックス型の外国株式ファンドであり、うち4本は300億円以上もの資金流入が10月にあった【図表2】。

【図表1】2022年10月の日本籍追加型株式投信（除くETF）の推計資金流出入



（資料）Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類を用いてファンドを分類。

【図表2】2022年10月の推計純流入ランキング

順位	ファンド名	運用会社	9月の推計 流出入	10月の推計 純流入	純資産 10月末時点
1位	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UFJ国際投信	615 億円	777 億円	16,449 億円
2位	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UFJ国際投信	358 億円	372 億円	7,392 億円
3位	楽天・全米株式インデックス・ファンド	楽天投信投資顧問	242 億円	330 億円	7,551 億円
4位	SBI・V・S&P500インデックス・ファンド	SBIアセットマネジメント	219 億円	303 億円	7,367 億円
5位	インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	インベスコ・アセット・マネジメント	244 億円	202 億円	2,216 億円
6位	インバウンド関連日本株ファンド	三井住友トラスト・アセットマネジメント	182 億円	171 億円	411 億円
7位	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投資D毎月(ヘッジなし)予想分配金提示	アライアンス・バーンスタイン	243 億円	154 億円	18,757 億円
8位	J-REIT・リサーチ・オープン(毎月決算型)	三井住友トラスト・アセットマネジメント	142 億円	143 億円	4,307 億円
9位	ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)	大和アセットマネジメント	158 億円	143 億円	7,112 億円
10位	SBI・V・全米株式インデックス・ファンド	SBIアセットマネジメント	50 億円	123 億円	1,199 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA・DC 専用ファンドは除く。

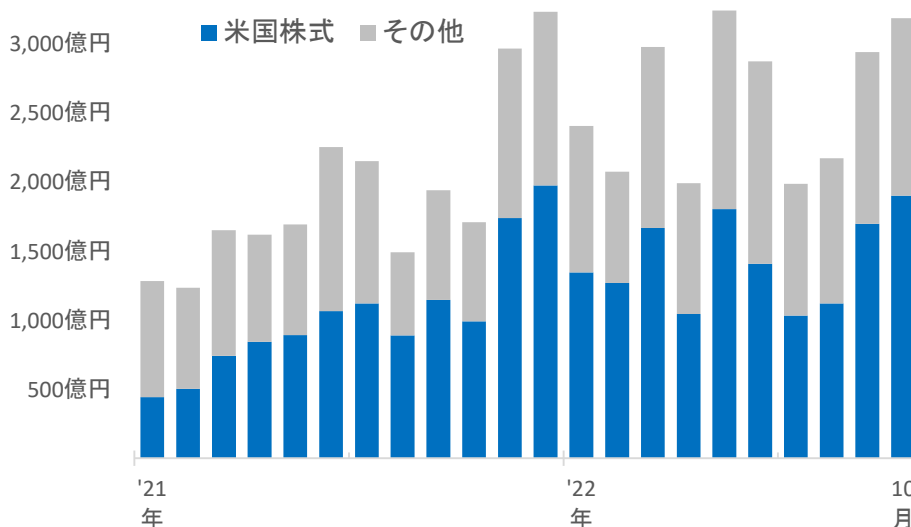
下落に伴って米株インデックスの買い

このインデックス型の外国株式ファンドへの資金流入 3,200 億円のうち、1,900 億円は米国株式ファンド(青棒)への資金流入であった【図表3】。インデックス型の米国株式ファンドには9月も1,700 億円と資金流入が膨らんでいたが、10月はさらに200 億円増加した。2022年5月の1,800 億円を超え今年最大の資金流入となり、過去最大であった2021年12月の2,000 億円に迫る規模であった。

10月は、月の前半(3日から14日)だけでインデックス型の米国株式ファンドに1,400 億円もの資金流入があった。毎月、月の前半は積立投資の買いによって資金流入が膨らむ傾向があるが、そのことを差し引いても、10月前半は資金流入が大きかった。実際に10月も積立投資が多い2日間、1日買付(黄棒)が反映された5日と8日買付(緑棒)が反映された13日にはそれぞれ486 億円、264 億円の資金流入がインデックス型の米国株式ファンドにあった【図表4】。9月は1日買付分が反映された5日が380 億円、8日買付分が反映された12日が188 億円であった。このことから10月前半は買付がいつも以上に多かったことが分かる。

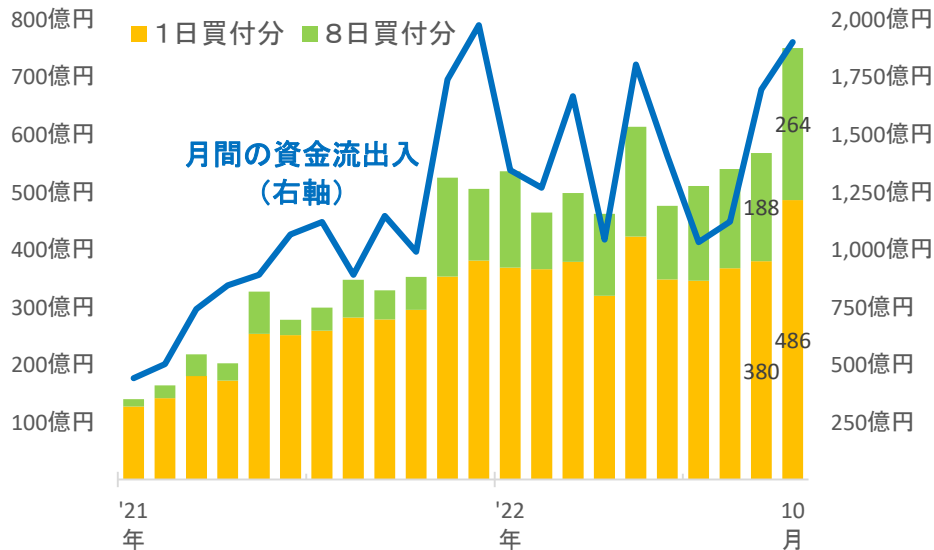
米国株式は10月後半こそ持ち直したが、10月前半は12日に主要指数であるS&P500種株価指数があくまでもドル建ての値での話ではあるが年初来安値を更新するなど、9月から引き続き下落、低迷していた。そのような中、積極的に米国株式を追加投資する人が多かったといえよう。

【図表3】インデックス型の外国株式ファンドの資金流出入の推移



(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA 専用ファンドは除く。2022年10月のみ推計値。

【図表4】インデックス型の米国株式ファンドの資金流入の推移



(資料) Morningstar Direct より作成。ETF、SMA 専用ファンドは除く。2022 年 10 月のみ推計値。
1日、8日買付分については DC 専用も除外し一般販売されているファンドのみ集計。

増える毎月8日積立

なお、先ほど触れたように最近では積立投資の買付が1日だけではなく8日も増えてきている。インデックス型の米国株式ファンドの資金流入をみても、2021年から8日買付分（緑棒）の資金流入が1日買付分（黄棒）同様、もしくはそれ以上に増えていることからそのことがうかがえる【図表4】。

これはクレジットカード引き落としとして積立投資を始める人が増えていることが背景にある。大手ネット証券会社などでは、クレジットカード引き落としとして毎月積立投資できるサービスを提供している。積立投資をしながら別途、投資額分のクレジットカードのポイントもためることができることもあり、実際に活用が広がってきている。

このクレジットカード引き落としの積立投資は、毎月の買付日が確定拠出年金と同じようにあらかじめ固定されている仕様となっている場合が多い。1日を買付日に指定している金融機関もあるが、新規顧客の場合は買付日が8日になっている金融機関もある。そのため8日のインデックス型の米国株式ファンドの買付が増え、それに伴って資金流入も増加してきていると推測される。

インデックス型外国株式以外のファンドは資金流入が鈍化

このように10月はインデックス型の外国株式ファンドの販売は好調であったが、アクティブ型の外国株式ファンドは10月に400億円（SMA専用のものを除外）の資金流入と9月の600億円から鈍化した。その他の資産クラスのリターンも、SMA専用ファンドによって資金流入が膨らんでいた国内債券以外は、すべて9月から資金流入が減少した。特に国内株式ファンドでは、10月に300億円と9月の2,300億円から2,000億円も急減した。また、バランス型ファンドは10月にSMA専用のものに400億円の大規模な資金流入があったため、全体だと1,100億円と9月の1,200億円から小幅な減少だが、SMA専用ファンドを除外すると10月は700億円の資金流入と9月の1,300億円からほぼ半減した。

尚、国内株式ファンドは10月に急減したというより、9月に株価下落に伴ってインデックス型の国内株式ファンドを中心に資金流入が膨らんでいた反動と言えるだろう。それでも10月はインデックス型の外国株式ファンドに積極的に追加投資する人がいる一方で、その他のファンドについては様子見で追加投資を控える人も多かった様子である。

資源関連株ファンドやトルコ株式ファンドが好調

10月に高パフォーマンスであったファンドをみると、一部の資源関連株式ファンド（青太字）やトルコ株式ファンド（赤太字）が特に好調であった【図表5】。

【図表5】2022年10月の高パフォーマンス・ランキング

	ファンド名	運用会社	10月の 収益率	過去1年 収益率	純資産 10月末時点
1位	米国MLPファンド(毎月分配型)Bコース(円ヘッジなし)	ドイチェ・アセット・マネジメント	47.2%	108.9%	43億円
2位	オーロラⅡ(トルコ投資ファンド)	野村アセットマネジメント	22.5%	50.7%	11億円
3位	トルコ株式オープン	SOMPOアセットマネジメント	20.4%	53.9%	41億円
4位	GS MLPインフラ関連証券ファンド 毎月決算コース	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	17.6%	64.7%	26億円
5位	シェール関連株オープン	岡三アセットマネジメント	17.5%	67.1%	44億円
6位	資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース	日興アセットマネジメント	16.6%	64.3%	96億円
7位	資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	日興アセットマネジメント	16.6%	64.2%	112億円
8位	野村世界業種別投資シリーズ(世界資源株投資)	野村アセットマネジメント	16.6%	39.4%	37億円
9位	MLP関連証券ファンド(為替ヘッジなし)	三井住友トラスト・アセットマネジメント	16.5%	61.9%	62億円
10位	世界シェールガス株ファンド	キャピタルアセットマネジメント	16.0%	80.9%	11億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2022年10月末残高が10億円以上のETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

(ご注意) 当資料のデータは信頼ある情報源から入手、加工したのですが、その正確性と完全性を保証するものではありません。当資料の内容について、将来見解を変更することもあります。当資料は情報提供が目的であり、投資信託の勧誘するものではありません。